



遊び疲れてしまうはずのGWが、4月の緊張感を癒し、もう一度整える連休になっていた方が多かったかと思います。でも、今年はそれでよかったのかもしれませんが。去年はスタートダッシュができませんでしたから。親子共々、久々の全力疾走だったのではないのでしょうか？

「走りすぎて息切れしてしまわないかな？」と心配する気持ちもあるかもしれませんが、全力疾走できるって素晴らしいことだと思います。疲れたら、立ち止まればいいし、座りたくなったら椅子を探せばいいですよ。あんずで息を整えて、栄養補給と準備体操、ついでにマッサージもして、また明日に臨みましょう！「もう少しこのまま行けそうだ」「もうひと押し大丈夫」「次のカーブで減速してみよう」なんて話し合えれば、力も沸いてきます。今月もよろしくお願いします。



＝お知らせ＝

## —5月・6月の予定—

- 5月13日（木）ドクターNの医療相談（児童・放デイ共）
- 5月19日（水）ST（児童）
- 5月26日（水）OT（児童）
- 6月16日（水）健康診断（児童）
- 6月24日（木）ST（児童）
- 6月29日（火）OT（児童）



## 《地域連携日について》（児童・放デイ共通）

今年度の地域連携日ですが、新型コロナウイルス感染症の動向が読めないため、6月～8月の設定は、見送ります。関係機関との連携は以下の通り進めていきます。ご協力、よろしくお願いします

### \*学校との連携（放デイ）

- ・日々のお迎え時の情報交換、個別支援計画の共有、夏休み中を中心に、話し合いの時間を可能な範囲で設定。

### \*幼稚園保育所、学童保育室との連携（児童・放デイ）

- ・保育所等訪問支援での連携を中心に取り組みます。

### \*訓練機関、他事業所との連携（児童・放デイ）

- ・電話や文章での情報交換を中心に行います。



## 《ドクターNの医療相談》（児童・放デイ共通）

5月13日（木）14:00～16:00（一人30分4枠）埼玉医大総合医療センター小児科の奈倉道明先生による個別医療相談を行います。「専門医の視点からの話を聞きたい」「病院に行くのはまだ…、でも…」「セカンドオピニオンを聞いてみたい」等、ちょっとした思いで構いません。ご希望ご関心のある方は、お声をかけてください。もちろん再相談も可能です。次回は9月です。



## 《定期健康診断》（児童）

6月16日（水）に児童の定期健康診断（一般健診・桜澤医院 茂手木先生）を行います。受診は必須ですが、幼稚園・保育所で健診を受けている場合は、受けなくても構いません。申込用紙をお配りしています。よろしくお願いします。



## 《就学に関する学習会》（児童）

GW明けより、年長児の保護者の方を対象に、“就学に関する学習会”を行います。お子さんの登園日に合わせて、午後の時間に2組くらいずつで行う予定です。多くの方が、昨年度作成したDVDを観ていただいていますので、就学に関して、“この一年間、どのような準備をしていけばよいか”“考えていくポイントはこんなこと”等、要点を絞ってお話しさせていただきます。ご希望のある方はお申し出ください。



**ここでもう一度、一人ひとり感染予防策を見直して、  
習慣になっている取り組みの精度を上げていきましょう！**

健康状態への早めの留意      こまめな手洗い      利用前の検温      手指の消毒

- \* 大人は、マスクを着用されている方のみの入場可。子ども達のマスクは、できる子のみで。
- \* 子ども本人の他、ご家族に体調不良の方がいる場合の利用もお断りしています。
- \* 定期的に換気を行っている他、席の工夫等『密』にならないよう、子ども達に無理のない範囲で取り組んでいます。小集団での支援の都合上、人は集まります。ご理解ご了解の上で利用していただきますよう、よろしくお願いします。
- \* 不確実な情報には気を付けましょう！何か不安なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

## 《STの東江先生を紹介します》

4月から、児童のST（言語療法）を担当していただいている東江先生です。



言語聴覚士の東江（あがりえ）浩美です。4月からどうぞよろしくお願いします。おひさまが「東」から「あがる」ので「あがりえ」と読みます。沖縄に多い名前ですが、私は鹿児島出身です。子どもたちの「わかった！」と「伝わった！」を大事にしたいと思っています。これからの一年を楽しみにしています。

## チョコレートクラスの4月あれこれ

チョコレートクラスがスタートして1か月が経ち、少しずつ、新しい友だちや大人、お部屋にも慣れてきましたね。だけど、まだドキドキしますよね。

「今日は、なにやるんだろう?」「誰がいるのかな?」と、子ども達は、ホワイトボードや周りの大人、お友だちの動きをよく見ています。初めてのことも知っていることも、いろいろなことを、みんなで一緒に少しずつ取り組んでいけたらいいなと思います。

巧技台運動では“はしご”にチャレンジしています。しっかり身体を支えながら、手足を順番に出していくのは、なかなか大変! 出した先の手や足の置き場所も、目で見たり、足で探ったりしながら、みんなそれぞれ頑張っています。

やりたい気持ちがあふれているチョコレートクラスのお友だち♡  
みんなで楽しみながら、たくさんのことを経験していきましょう♪



## キャンディクラスの4月あれこれ

キャンディクラスがスタートして1か月。新しいお友達が仲間入りしたり、あんずに来る曜日が替わったり。新生活はちょっぴりドキドキのお顔も見られます。

活動では、定番の“ゆらっこ”が大人気です。マットとタオルケットを見て、「やりたい!」とワクワクしたり、お名前を呼ばれてやる気を出したり、いろいろな揺れを感じて楽しんだりリラックスする姿は、とてもステキです。

“ゆらっこ”がお馴染みの子にとっては“知っている”“変わらない”心地よい時間となり、新しいお友達には“楽しい”“大好き”な時間となっているようです。「お家でも楽しんでいます」という声をたくさん聞いています。お家で過ごすレパートリーに加えていただけていること、とっても嬉しいです。



## 保育所等訪問支援のある日あるとき

4月中旬から、保育所を皮切りに今年度の訪問支援は始まりました。

新しい担任の先生や加配の先生にご挨拶をし、「だれ〜」「また来たの〜」と近づいてきてくれる子ども達に「よろしくね」の挨拶をし、“あ、いたいた”と、その子の姿を確認。そんな毎日でした。進級して少し変化した環境に馴染もうと一生懸命な子や、その変化を足掛かりに、一つ階段を上がった子、姿は違っても前を向けています。ここで初めて集団生活を味わい始めた子が何人かいるのですが、みんな思った以上に楽しめていました。先生方が、入園前からいろいろと考えてくださったおかげです。事前に、親子で園の下見をさせていただいたり、話し合いの時間を設けてくださったこと大きいですね。今やそれが自然な受け入れ方になっていることが、この地域の財産だなと思います。

学童保育室への訪問も始まっています。新年度が始まって、ちょうど疲れが出てきている頃ですが、小学生ともなるとタフですね。その子らしさが既に表れていました。一年生は、まだ数日しか経っていないのに、もう小学生でした。がんばれよ〜

1回目の訪問支援がまだ一巡しておらず、申し訳ありません。お伺いする日を楽しみにしています。よろしく願いいたします。





## 放デイのひとり言

新年度の4月、それぞれが進学・進級し、あんずの様子も少し変化が現れました。真新しい制服を身にまとい来所する姿が増えたことです。そんなお兄さん、お姉さんが年下の小学生に順番を譲ったり、やさしく遊びに誘う姿を見て、制服マジックも手伝ってか、成長を感じます。

好きな遊びだけでなく、活動やチャレンジタイムでも、「やった〜!」「出来た」「楽しかった」の気持ちを感じてもらえるように、子どもたちを支えていきたいです。

不安と心配・ちょっとワクワク。そんなみんなの成長に合わせて、低学年と高学年・中学生の活動等の時間を少しずらし、活動内容にも変化をつけて、有効に利用できるようにしていきたいと思っています。



### あんず書店



#### 『 コッケモーモー! 』

絵：アリソン・バートレット

訳：たなか あきこ

出版社：徳間書店



ある朝、おんどりが息を大きく吸って鳴きますが、出てくる鳴き声は…おんどりは鳴き方を忘れてしまいました。仲間たちからは、心配されたり、バカにされたり、悲しくなったおんどりですが、大活躍も!!

おもしろいやりと、動物たちのいろんな鳴き声。ひとりで読むより、読み聞かせにピッタリ! 絵もとってもかわいいですよ♡

本屋さんには、あまり売っているのを見ないので、

ぜひ、調べてみてください。(武田)

#### ☆お 礼☆

4月早々に、かるた、BOX ティッシュ、ハンドソープをいただきました。いつもありがとうございます。大切にに使わせていただきます。

あんずを利用しているお子さんのお父様に、砂場の砂を総入れ替えしていただきました。お手間もおかけし、本当にありがとうございました。





「つながり」をご縁と解釈させていただき、私自身とさやま幼稚園と「あんず」とのつながりについてお話させていただきます。

最終勤務校で、担任の不適切な対応により学校を休むようになってしまったお子さんが、さやま幼稚園のすぐそばにお住いの知り合い方のところで過ごすことがあり、お詫びとお子さんの面談にお邪魔したことがあります。その時は、さやま幼稚園のことは何も知りませんでした。今から思うと、そのころからさやま幼稚園とご縁があったのかもしれない。

その時のお子さんは、この4月から大学に進学をします。今でも、年賀状のやりとりをしています。

そのさやま幼稚園では、園児のことを第一に考え、全教職員で園児一人一人を多面的・肯定的・共感的に接する素晴らしい職員と出会うことができました。

赴任した4月早々に、あんずの先生にお越しいただきお話を伺うことができました。

それ以来、さやま幼稚園で、あんずにお世話になっている園児だけでなく、担任が、どのように接したら園児の良さをさらに引き伸ばすことができるのか悩んでいる時など、気軽に相談に乗ってくださっています。

支援に行き詰まっていた園児の関わり方や園児の状況を、わかりやすく教えていただき、そのアドバイスしていただいたことを実践し、園児が伸び伸びと生活するようになり、友達からも本人の良さを認められるようになり、自信を持って友達と関われるようになった園児が多数います。ですから、月一度の訪問支援を全職員が心待ちにしています。また、助言いただいたことを実践した報告をするのも楽しみのひとつです。

もうひとつ、どうしてもご紹介したいことがあります。それは、都内の目白小学校で同じ恩師に教えていただいた後輩が、さやま幼稚園の園児の祖母に当たる方が分かったのです。私の一番大好きだった恩師が亡くなり、担任をしていただいた学校も異なる5つのクラスが合同で偲ぶ会を開催することになりました。私もその後輩も幹事として準備にあたり、その当日の会が始まる前に挨拶をして分かりました。さやま幼稚園との大きなご縁を感じました。

そんなご縁のあるさやま幼稚園で、あんずの先生方のご支援をいただきながら仕事ができるご縁(=つながり)に感謝しながら、毎日を過ごしています。

